

20060125A 梅沢伊勢三文書 目録

請求記号		表題	作成年代	作成者	形態(数量)	概要	備考
I 著作・論文・原稿(論文原稿・講演原稿)							
梅沢	I 1	『記紀批判』(初版)	昭和37年5月	梅沢伊勢三	1冊(284枚、表紙含む)	創文社刊。ブックカバー裏に訂正留所(3枚綴、ホチキス外す)入り。	
梅沢	I 2	『記紀批判』(校訂用)	昭和37年5月	梅沢伊勢三	1冊(285枚、表紙含む)	創文社刊。	
梅沢	I 3	『続記紀批判』	昭和51年3月	梅沢伊勢三	1冊(343枚、正誤表・メモ・表紙含む)	創文社刊。梅沢伊勢三の著書で『記紀批判』の続編。「校訂用」とあり、分冊の内容を記したメモが挟まれている。	
梅沢	I 4	〔論文〕村岡典嗣代における思想史の方法—特に価値観と歴史叙述の関連について—	昭和49年10月	梅沢伊勢三	8枚綴	「日本思想史学」第6号別冊。日本思想史学会昭和48年度大会での発表を整理・改稿したもの。村岡典嗣の日本思想史研究の学問論・方法論について論述。朱筆による線引きあり。	
梅沢	I 5	〔論文〕「古事記の時代ということ—国学的思考から脱皮のために—」	昭和55年	梅沢伊勢三	7枚綴	岩波『文学』に昭和55年5月掲載されたもの。特集「古事記の時代」。	
梅沢	I 6	〔原稿〕村岡典嗣教授初期の学問	昭和23年	梅沢伊勢三	1冊(22枚)	論文原稿か。村岡の学問についてその来歴と関連させながら記したもの。反故原稿用紙を張り合わせて冊子状にしたものに書かれている。	表紙に朱筆でBとあり
梅沢	I 7	〔原稿〕村岡典嗣代における思想史の方法—特に価値観と歴史叙述の関連について—	昭和48年か	梅沢伊勢三	9枚綴+9枚綴+6枚綴	村岡典嗣の日本思想史論についての論文原稿。(一)はしがき/(二)「日本精神論」における代表的主張/(三)他の論文における同様の主張/(四)思想史観との関係/(五)発想の由来	
梅沢	I 8	〔原稿〕村岡典嗣教授における「日本思想史」		梅沢伊勢三	7枚綴	村岡典嗣の日本思想史論についての論文。	
梅沢	I 9	〔原稿〕第三章 記前紀後の問題点		梅沢伊勢三	49枚綴	1紀前紀後説の問題点 2帝紀の原型と記紀についての抜刷と3日本における歴史意識の発生についての原稿を一綴りにしたもの。	当初『蕪村集』の外箱入
梅沢	I 10	〔原稿〕(原稿)戦後における日本思想史学の動		梅沢伊勢三	35枚綴	戦後の日本思想史研究史をまとめた論文。表題の前に鉛筆書きで「(原稿)」とあり。	
梅沢	I 11	〔原稿〕(改稿)戦後における日本思想史学の動		梅沢伊勢三	16枚綴	戦後の日本思想史研究史をまとめた論文。表題の前に鉛筆書きで「(改稿)」とあり。	
梅沢	I 12	〔原稿〕記紀編述思想比較論攻 一		梅沢伊勢三	1冊(194枚、表紙含む)	著作の原稿か。序説/第一章 記紀両書の関係	
梅沢	I 13	〔原稿〕記紀編述思想比較論攻 二		梅沢伊勢三	1冊(202枚、表紙含む)	著作の原稿か。第二章 表現様式に表はれたる編述思想	

請求記号			表題	作成年代	作成者	形態(数量)	概要	備考
梅沢	I	14	[原稿]記紀編述思想比較論攻 三		梅沢伊勢三	1冊(84枚、表紙、メモ)	著作の原稿か。第三章 道德思想	
梅沢	I	15	[原稿]對校記紀 一		梅沢伊勢三	1冊(69枚、表紙含む)	記紀編述思想比較論攻の別冊。古事記と日本書紀の記述について、両者の内容を対応させながら校注をくわえたもの。	
梅沢	I	16	[原稿]對校記紀 二		梅沢伊勢三	1冊(44枚、表紙含む)	記紀編述思想比較論攻の別冊。古事記と日本書紀の記述について、両者の内容を対応させながら校注をくわえたもの。	
梅沢	I	17	0 外箱(『日本文学大辞典』)		梅沢伊勢三		I-17の原稿を一括して保存していたもの。	
梅沢	I	17	1 [原稿]本居宣長に於ける「神」一、宣長の神		梅沢伊勢三	12枚綴	「本居宣長に於ける「神」」の第1章部分の原稿。	表紙に朱筆でBとあり
梅沢	I	17	2 [原稿]二、神々の諸相		梅沢伊勢三	13枚綴	「本居宣長に於ける「神」」の第2章部分の原稿か。	
梅沢	I	17	3 [原稿]三、神々の性格		梅沢伊勢三	28枚綴	「本居宣長に於ける「神」」の第3章部分の原稿か。	
梅沢	I	17	4 [原稿]四、神性の本質不可解の世界		梅沢伊勢三	33枚綴	「本居宣長に於ける「神」」の第4章部分の原稿か。	
梅沢	I	17	5 [原稿]七、神の道		梅沢伊勢三	26枚綴	「本居宣長に於ける「神」」の第7章部分の原稿か。	
梅沢	I	17	6 [原稿]八、批判		梅沢伊勢三	34枚綴	「本居宣長に於ける「神」」の第8章部分の原稿か。	
梅沢	I	17	7 [抄録]一、類属とその主体 個別的な性格		梅沢伊勢三	12枚綴	論文にかんするものか。反故紙となった東北帝国大学法文学部試験用紙の裏に書かれている。	
梅沢	I	17	8 [抄録]二、本性の一般的諸相		梅沢伊勢三	16枚綴	論文にかんするものか。反故紙となった東北帝国大学法文学部試験用紙の裏に書かれている。	
梅沢	I	17	9 [抄録]三、本質と現実世界		梅沢伊勢三	9枚綴	論文にかんするものか。反故紙となった東北帝国大学法文学部試験用紙の裏に書かれている。	
梅沢	I	17	10 [抄録]四、人間との交渉		梅沢伊勢三	10枚綴	論文にかんするものか。反故紙となった東北帝国大学法文学部試験用紙の裏に書かれている。	
梅沢	I	17	11 [抄録]天照大御神		梅沢伊勢三	80枚綴	反故原稿の裏に書かれている。付箋複数あり。	
梅沢	I	17	12 [原稿断片]		梅沢伊勢三	10枚綴	「[抄録]天照大御神」に挿みこまれていたもの。	
梅沢	I	17	13 [メモ]		梅沢伊勢三	7枚	「[抄録]天照大御神」に挿みこまれていたもの。	
梅沢	I	17	14 [メモ]		梅沢伊勢三	1枚	本居宣長関連の書籍を一覧にしたもの。	
梅沢	I	17	15 [原稿断片]		梅沢伊勢三	1枚	ページ番号28とあり。	
梅沢	I	17	16 [原稿断片]思想史の問題—特に日本思想史の場合—		梅沢伊勢三	3枚	最初の3ページのみ。	
梅沢	I	17	17 [原稿断片]		梅沢伊勢三	1枚	ページ番号9とあり。	

請求記号			表題	作成年代	作成者	形態(数量)	概要	備考
梅沢	I	18	[原稿(コピー)] 解題 本居宣長		梅沢伊勢三	1冊(67枚、表紙含む)	『神道大系 本居宣長』の解説の原稿のコピー。背表紙に「発表済」とあり。 一 宣長学の本質/二 宣長の著述/三 宣長学と「道」/四 宣長における「神」/五 家系・年譜・学統/六 著述年表・参考文献	
梅沢	I	19	[原稿] 村岡典嗣先生のこと		梅沢伊勢三	5枚	33年前の村岡典嗣(先生)死去と別離について、当時の思出をふり返ったもの。	
梅沢	I	20	[講演原稿] 村岡先生と日本思想史学(原稿)	昭和50年4月	梅沢伊勢三	28枚綴+3枚(一括封筒入り)	村岡の没後30周年記念講演会での講演原稿のほか、講演の構想についてのメモ1枚、イギリスの経験論についてのメモ1枚、村岡典嗣先生論文・著作目録が1部。	
梅沢	I	21	[講演資料]	昭和51～60年	梅沢伊勢三	155枚	「日本人のものの考え方見方」(昭和60年7月24日東北管区警察学校講演、昭和61年6月18日七郷老壮大学)、「古代におけるカミ」(昭和59年10月27日日本思想史学会大会公開講演)、「王化之鴻基と歌謡説話」(昭和57年6月20日古事記学会大会発表)、「古事記の古」(昭和51年6月26日古事記学会大会於日本女子大学、改稿発表済とあり)、「本居宣長の遺言書」(改稿発表済)/など	
梅沢	I	22	[講演原稿]		梅沢伊勢三	75枚	ニギハヤヒ説話/「古事記及び日本書紀における個体尊称(カミ・ミコト)の実態(序説)(『國學院雑誌』第82巻11号、昭和56年11月、校正用とあり)」「古事記講義」(昭和60年成人大学)、「日本神話について その見方・考え方・受取り方」(昭和60年西多賀、岩切)、「古事記と俳句」(昭和59年11月25日俳人協会宮城支部)、「古典と現代生活」(昭和63年9月10日けいしゅう十周年記念講演、エルパーク仙台)	
II 講義ノート								
梅沢	II	1	[講義ノート 昭和24年度 原始日本人の精神生活]	昭和24年	梅沢伊勢三	1冊(89枚、表紙・題籤含む)	昭和24年度の講義ノート。目次に重複がある。 第1章 原始日本人の生活志向(I 振興的生活ト汎神論、II 情緒的性格ト現実主義、III 楽天的生活ト発展的世界観)/第1章 原始日本人の精神生活(I 民俗信仰ノ諸相トソノ信仰対象、II 自然愛ト現実主義、III 恋愛ト情熱的生活、IV 発展的世界観ト罪ノ観念)/第2章 大和朝廷ノ発展ト思想統制(I 自然神ト祖先神ノ結合)/第3章 伝統思想ト外来思想トノ交渉/	
梅沢	II	2	[講義ノート] 昭和25年度 普通講義 古事記及び日本書紀の歴史的性格	昭和25年	梅沢伊勢三	1冊(162枚、表紙・題籤含む)	昭和25年度の講義ノート。 「日本古代思潮 III 記紀の成立と時代思潮の遷移」とある。	

請求記号			表題	作成年代	作成者	形態(数量)	概要	備考
梅沢	II	3	〔講義ノート〕昭和31年度日本思想史特講 記紀成立の思想史的考察	昭和31年	梅沢伊勢三	1冊(147枚、表紙・題籤・紙片1枚含む)	昭和31年度の講義ノート。 「本稿は殆ど『記紀批判』の一部なり」とある。 序説 日本における歴史意識の発生について-記紀の成立過程-/第1章 古事記撰録の目的/第2章 記紀両書の思想的相違とその史的意義/第3章 記紀成立の時代背景	
梅沢	II	4	〔講義ノート〕昭和32年度講義(2) 上代日本の倫理思想(I)	昭和32年	梅沢伊勢三	1冊(132枚、表紙・題籤含む)	昭和32年度の講義ノート。 「3冊のうち」とある。	
梅沢	II	5	〔講義ノート〕昭和34年度特殊講義 平安初期の思想	昭和34年	梅沢伊勢三	1冊(129枚、表紙含む)	昭和34年度の講義ノート。 序説/第一章 国家神道ノ組織的完成/(1)平安以前ノ神ト国家トノ関係/(2)令ニオケル神祇制度/(3)平安初期ニオケル神道ノ動向/第二章 ①社格ノ決定/②儀式典礼ノ整備/③新興有力神ノ発生/④神仏習合ノ進行/⑤陰陽道ノ影響/⑥和歌ニアラワレタ神祇観	
梅沢	II	6	〔講義ノート〕昭和35年度特殊講義 記紀論	昭和35年4月～36年3月	梅沢伊勢三	1冊(127枚、表紙・題籤含む)	昭和35年度の講義ノート。 「本稿は凡そ『記紀批判』の一部なり、よって大体不要のもの」とある。	
梅沢	II	7	〔講義ノート〕昭和36年度特殊講義 上代日本人の道德意識 I	昭和36年	梅沢伊勢三	1冊(137枚、表紙・題籤含む)	昭和36年度の講義ノート。 第1章 神話及ビ古代伝説ニアラワレタ道德思想、序説、本論(1古道論争、2古代日本人ノ生活意識、3ツミノ観トハラエノ風習)/第2章 儒佛ノ伝来ト道德的自覚ノ発生、(1日本書紀ノ道德思想、3十七条憲法ノ道德性トソノ歴史的意義)	
梅沢	II	8	〔講義ノート〕昭和37年度特殊講義 上代日本人の道德思想 II	昭和37年	梅沢伊勢三	1冊(121枚、及びバインダー・題籤・紙片1枚含む)	昭和37年度の講義ノート。 1十七条憲法/2国字神道の成立と臣民道德の主張/3天武朝の思想的動向/4万葉集/5宣命/論文題目「推古朝前後における神佛関係について論ぜよ」但し講義筆記ノートと共に提出のこと	
梅沢	II	9	〔講義ノート〕昭和38年度特殊講義 平安時代の神佛関係	昭和38年	梅沢伊勢三	1冊(154枚)	昭和38年度の講義ノート。 平安時代の思想(I 平安初期の神佛関係 序説 34年度序説ヲ用フ、とあり)	
梅沢	II	10	〔講義ノート〕昭和39年度物怪観念	昭和39年	梅沢伊勢三	1冊(52枚、表紙含む)	昭和39年度の講義ノート。	前欠・後欠、表紙はつけ直したものか
梅沢	II	11	〔講義ノート〕昭和39年度 平安初期神道と道德思想 II	昭和39年	梅沢伊勢三	1冊(97枚、表紙・題籤含む)	昭和39年度の講義ノート。 「3冊のうち2」とある。「平安初期神道と道德思想」、「平安初期の道德思想」と2つのタイトルが付されている。	
梅沢	II	12	〔講義ノート〕昭和39年度特殊講義 III 儒教と道德思想(平安初期)	昭和39年	梅沢伊勢三	1冊(105枚、表紙・題籤含む)	昭和39年度の講義ノート。 平安時代における思想上の諸問題/1物怪観念の発生/2道德思想の基調	

請求記号			表題	作成年代	作成者	形態(数量)	概要	備考
梅沢	II	13	[講義ノート]昭和44年度 講義 日本思想史 講読	昭和44年	梅沢伊勢三	1冊(31枚、表紙含む)	昭和44年度の講義ノート。 1日本神話における太陽神ニツイテ/2始祖神説話ニ見エル太陽神/II 近世の国学	
梅沢	II	14	1 [講義ノート]神代紀一書考	昭和45年	梅沢伊勢三	70枚綴	昭和45年に東北大学文学部で開講された神代紀講読で用いられたノート。	当初『蕪村集』の外箱入
梅沢	II	14	2 [抜刷]神代紀一書考	昭和45年	梅沢伊勢三	1部(5枚)	「国学院雑誌」第71巻11号に掲載された梅沢の論文。II-14-1に挿みこまれている。講義で使用されたものか。	当初『蕪村集』の外箱入
梅沢	II	15	[講義ノート] 昭和48年度 記紀論	昭和48年4月～49年1月	梅沢伊勢三	115枚綴	昭和48年度の講義ノート。	『日本神話の新研究』の外箱入
梅沢	II	16	[講義ノート]昭和53年 原始日本人の心性	昭和53年	梅沢伊勢三	92枚綴(題籤含む)	昭和53年度の講義ノート。	
梅沢	II	17	[講義ノート]昭和39年 物怪観念の研究(再)	昭和55年か	梅沢伊勢三	1冊(99枚、表紙含む)	昭和39年に東北大学で行われた講義を、福祉大で再講した際に作成された講義ノートか。 間に5枚つづりの原稿用紙を挿む。	
梅沢	II	18	[講義ノート]昭和56年 (目次)	昭和56年	梅沢伊勢三	1冊(26枚、バインダー、紙片2枚含む)	「昭和56年度 福祉大学日本時代思想史のうち日本古代思潮、岩手大学 日本古代思潮」とある。 内容は項目のみが記載されており、(日本古代思潮、1日本思想史について、2古代思想史序説、3古代日本人の心性(風土)、神霊観の問題、5神祇的世界観、6清明心の自覚)とある。	背表紙に題箋「抄録 I」
梅沢	II	19	[講義ノート]昭和57年度 日本思想史講義	昭和57年	梅沢伊勢三	35枚綴	東北福祉大で昭和57年度に行われた講義のノート。前期・後期の通年で、平安・古代から戦後にかけての日本思想を概説。東北学生新聞94号(昭和25年2月発行)に掲載された梅沢執筆の記事「四重の誤謬＝日本思想史学の問題に寄せて＝」の切り抜きを貼り付ける。	英文のメモ1枚挿む
梅沢	II	20	[講義ノート](福祉大)57年後期 古事記の思想	昭和57年	梅沢伊勢三	34枚綴	東北福祉大で昭和57年度に行われた講義のノート。古事記序文の天武天皇詔の解釈に始まり、「日本書紀風土歴史ノ作り方ニ対スル不満カラ古事記ガ計画サレタ」という結論に至る。	
梅沢	II	21	[講義ノート]第二面 KTC 古事記講義(序文)	昭和60年9月～12月	梅沢伊勢三	1冊(30枚)	昭和60年、河北TBCカルチャーセンター(KTC)での古事記講読の講義ノート。古事記の概説など。	
梅沢	II	22	[講義ノート]カルチャーセンター 古事記講読	昭和61年7月～昭和62年4月	梅沢伊勢三	1冊(71枚、バインダー含む)	昭和61～62年、河北TBCカルチャーセンターでの古事記講読の講義ノート。様々な出典からの系図、古代の神々の出自について。	名簿あり。
梅沢	II	23	[講義ノート]カルチャー第二面	昭和60年か	梅沢伊勢三	1冊(89枚、表紙含む)	河北TBCカルチャーセンターでの古事記講読に関連して、資料として作成されたものか。古事記の文面の解釈など。間に系図2枚挿む。	『続記紀批判』の外箱入

請求記号			表題	作成年代	作成者	形態(数量)	概要	備考
梅沢	Ⅱ	24	〔講義ノート〕古事記講読(資料)	昭和61年度	梅沢伊勢三	1冊(74枚、表紙含む)	河北TBCカルチャーセンターでの古事記講読に関連して、資料として作成されたもの。古事記の文面の解釈など。間にメモ等2枚挿む。	『続記紀批判』の外箱入
梅沢	Ⅱ	25	〔講義ノート〕昭和63年度 カルチャー講読	昭和63年	梅沢伊勢三	33枚綴(ルーズリーフ)	昭和63年度、河北TBCカルチャーセンターでの古事記講読の講義ノート。古事記の記述と記紀の相違など。	
梅沢	Ⅱ	26	〔講義ノート〕日本思想史原論		梅沢伊勢三	67枚綴	講義ノートとして作成されたうちの一部分か。思想史の学問的位置づけについて。	
梅沢	Ⅱ	27	〔講義ノート〕日本思想史学の成立		梅沢伊勢三	59枚綴	講義ノートか。途中ページを欠く。	当初『蕉門俳論俳文集』の外箱入
梅沢	Ⅱ	28	〔講義ノート〕霊異記講読		梅沢伊勢三	9枚綴	講義ノートか。霊異記に関する基礎知識、および文面の解釈。	当初『化政天保俳諧集』の外箱入
Ⅲ 抄録(研究関係)・日録・メモ								
梅沢	Ⅲ	1	〔抄録 研究ノート〕	(昭和37年)	梅沢伊勢三	1冊(57枚、バインダー含む)	研究ノート。読書まとめ等。	黄表紙
梅沢	Ⅲ	2	〔抄録〕海宮遊行章比較表	昭和48年	梅沢伊勢三	34枚綴	史料のコピーを切り貼りし、注記を加えたもの。	当初『日本神話の新研究』の外箱入
梅沢	Ⅲ	3	〔抄録〕日本思想史学の成立	昭和51年7月	梅沢伊勢三	67枚綴	1江戸以前/2明治時代/3大正時代/4昭和前期戦中/5昭和後期 後半に先行論文一覧。	
梅沢	Ⅲ	4	〔抄録 日本人論ほか〕	昭和51～55年	梅沢伊勢三	1冊(39枚、新聞切抜は計11項目)	『続記紀批判』の寄贈者が列挙されている。また、日本人論を扱った新聞が切り抜かれている。昭和51～52年の句集に関する記録などが含まれる。	背表紙に題箋「受贈論著」
梅沢	Ⅲ	5	〔抄録 読書まとめなど〕		梅沢伊勢三	1冊(75枚、バインダー含む)	研究ノート。読書まとめ等。	背表紙に題箋「要抄」、内部に書き入れ「梅沢伊憲」などあり
梅沢	Ⅲ	6	〔抄録 本の講読など〕		梅沢伊勢三	1冊(72枚、バインダー・新聞切抜1枚含む)	研究ノート。読書まとめ等。	背表紙に題箋「抄録Ⅱ」
梅沢	Ⅲ	7	〔抄録 古典講読など〕		梅沢伊勢三	1冊(69枚、バインダー含む)	研究ノート。読書まとめ等。	
梅沢	Ⅲ	8	〔抄録 研究メモなど〕		梅沢伊勢三	1冊(80枚、バインダー含む)	研究ノート。読書まとめ等。	『古代思想の研究』の外箱入
梅沢	Ⅲ	9	〔抄録〕日本思想史ノートⅠ		梅沢伊勢三	1冊(39枚、表紙含む)	研究ノート。読書まとめ等。	当初『化政天保俳諧集』の外箱入。文部省選定 教育ノート中学校甲

請求記号			表題	作成年代	作成者	形態(数量)	概要	備考
梅沢	Ⅲ	10	[抄録]記紀系図		梅沢伊勢三	1冊(40枚、表紙含む)	研究ノート。記紀における天照大神以下の系図などを記す。	当初『化政天保俳諧集』の外箱入。文部省選定 教育ノート中学校用
梅沢	Ⅲ	11	[抄録 書き抜きなど]		梅沢伊勢三	11枚綴	思想史関連の著書からの抜書き。研究用のメモか。	
梅沢	Ⅲ	12	[抄録]帝紀と記紀再説		梅沢伊勢三	21枚綴	反故紙の裏に書かれた研究用のメモ。	
梅沢	Ⅲ	13	[抄録]古事記ノ思想		梅沢伊勢三	28枚綴	著書の冒頭部分の原稿とそれに続く部分の構想を記したメモか。	『蕪村集』の外箱入
梅沢	Ⅲ	14	[抄録]東北地方における本居学派		梅沢伊勢三	114枚綴+2枚	近世における、東北地方の本居学派の人物を列挙したノート。間にメモ1枚、地図を写し取ったトレーシングペーパー1枚挿む。	当初『化政天保俳諧集』の外箱入
梅沢	Ⅲ	15	[抄録]現実としての神		梅沢伊勢三か	1冊(23枚、表紙含む)	神についての思索を箇条書にしたノート。記載があるのは最初の4ページのみ。	
梅沢	Ⅲ	16	[抄録]古代日本の諺についての考察		梅沢伊勢三	1冊(66枚)	諺の形成、意味内容について考察したもの。	『上代文学考究』の外箱入
梅沢	Ⅲ	17	[日録 昭和44~51年]	(昭和44年)3月16日~昭和51年12月17日	梅沢伊勢三	88枚綴	昭和41年から昭和51年までの日録の集成。大学・俳句関係の日程などのほか、昭和50年度の「鳥雀舎日記」も含む。	
梅沢	Ⅲ	18	[日録 昭和52年]	昭和52年1月1日~昭和52年12月26日	梅沢伊勢三	1冊(28枚、入館券含む)	昭和52年の日録。句会などのほか、特に『霽』の原稿・発送に関する記事が多い。また、日航機ハイジャック事件などについても記入されている。	
梅沢	Ⅲ	19	[日録 昭和59年度]	昭和59~60年	梅沢伊勢三	1冊(82枚、バインダー含む)	昭和59年度の日録。天気や句会関係の事項が多く記されている。Kカルは河北カルチャーセンター、仙カルは仙台カルチャースクールか。	ファイル綴
梅沢	Ⅲ	20	[日録 昭和60~平成元年]	昭和60年1月1日~平成元年2月2日	梅沢伊勢三	1冊(61枚、バインダー含む)	昭和60年から平成元年までの日録。句会や『霽』に関わる会合、「Kカル」関係が多くみられる。	
梅沢	Ⅲ	21	[メモ]	昭和48年6~7月	梅沢伊勢三か	4枚	学生に対する論文指導時のノート。	
梅沢	Ⅲ	22	[メモ](一)村岡史学の概説		梅沢伊勢三か	4枚	報告発表に関連して作成されたと思いきメモ。	
梅沢	Ⅲ	23	[メモ]		梅沢伊勢三か	2枚	書名を列挙したものと人名を列挙したもの。詳細不明。いずれかのノートから欠落したものか。	当初『蕉門俳論俳文集』の外箱入
梅沢	Ⅲ	24	[メモ 書籍一覧]		梅沢伊勢三か	1枚	日本思想史関連の書籍の一覧。	
IV 村岡典嗣関係資料・論文抜刷								
梅沢	IV	1	村岡典嗣履歴書			3枚綴	村岡典嗣の履歴書。東北帝国大学の履歴書用紙が用いられている。	

請求記号			表題	作成年代	作成者	形態(数量)	概要	備考
梅沢	IV	2	早稲田の人 村岡典嗣			3枚綴+4枚綴	早稲田大学学生部発行「新鐘」第20号に掲載の記事のコピー。	
梅沢	IV	3	[メモ]村岡著作集			2枚(一括封筒入り)	村岡典嗣の著作をまとめた一覧と「村岡典嗣著作集刊行要領」と題が付されたメモ1枚	
梅沢	IV	4	[一括]村岡典嗣資料			6枚(一括封筒入り)	中に村岡典嗣の著作をまとめた一覧(同一物)が5枚と「村岡典嗣著作集刊行要領」と題が付されたメモ1枚。「[メモ]村岡著作集」のコピーか。	
梅沢	IV	5	村岡先生の臨終(きか夫人談)		梅沢伊勢三か	7枚綴	村岡典嗣の臨終について夫人が語ったことを梅沢が筆録したものの。	
梅沢	IV	6	村岡典嗣先生略歴并著作年表(校訂用)	昭和25年4月	梅沢伊勢三(編)、日本思想史学会(刊)	6枚綴	校訂用の村岡典嗣先生略歴并著作年表。梅沢によるものと思われる訂正の書き込みあり。	
梅沢	IV	7	[一括]村岡年表	昭和25年4月	梅沢伊勢三(編)、日本思想史学会(刊)	3部(一括封筒入り)	「村岡年表」と記された封筒の中に村岡典嗣先生略歴并著作年表3部入り。	
梅沢	IV	8	[一括]村岡先生年譜	昭和25年4月	梅沢伊勢三(編)、日本思想史学会(刊)	4部(一括封筒入り)	「村岡先生年譜」と記された封筒の中に村岡典嗣先生略歴并著作年表4部入り。	
梅沢	IV	9	[一括]村岡先生略歴・著作目録	昭和25年4月	梅沢伊勢三(編)、日本思想史学会(刊)	5部(一括封筒入り)	「村岡先生年譜」と記された封筒の中に村岡典嗣先生略歴并著作年表5部入り。	
梅沢	IV	10	[一括]村岡典嗣				宮城工業高等専門学校封筒。論文「村岡典嗣」のほか、村岡典嗣先生略歴并著作年表入り。	
梅沢	IV	10	1 村岡典嗣先生略歴并著作年表	昭和25年4月	梅沢伊勢三(編)、日本思想史学会(刊)	2部(同一物)	村岡典嗣の略歴・著作を年表にまとめたもの。うち1部に印刷物「執筆要項」1枚挿む。	
梅沢	IV	10	2 村岡典嗣先生略歴・著作目録	昭和50年4月	村岡先生歿後三十年記念会・東北大学文学部日本思想史研究会	1部	村岡典嗣の略歴・著作を年表にまとめたもの。	
梅沢	IV	10	3 [抜刷]村岡典嗣		森田康之助	6枚綴	「神道宗教」第41号に掲載された論文の抜刷。村岡の事績を記す。線引き、書き込みあり。	

請求記号				表題	作成年代	作成者	形態(数量)	概要	備考
梅沢	IV	11	1	村岡典嗣先生略歴・著作目録	昭和50年4月	村岡先生歿後三十年記念会・東北大学文学部日本思想史研究会	50部(同一物)	村岡典嗣の略歴・著作を年表にまとめたもの	吉川弘文館封筒(梅沢宛、「村岡先生年譜」の書き込みあり)に入る
梅沢	IV	11	2	[原稿]村岡典嗣先生略歴・著作目録	昭和50年か	村岡先生歿後三十年記念会・東北大学文学部日本思想史研究会	1枚	村岡典嗣先生略歴・著作目録の手書き原稿。朱筆による書き込みあり	吉川弘文館封筒(梅沢宛、「村岡先生年譜」の書き込みあり)に入る
梅沢	IV	11	3	[論文]村岡典嗣代における思想史の方法—特に価値観と歴史叙述の関連について—	昭和49年	梅沢伊勢三	8枚綴	「日本思想史学」第6号別冊。日本思想史学会昭和48年度大会での発表を整理・改稿したもの。村岡典嗣の日本思想史研究の学問論・方法論について論述。	
梅沢	IV	12		[抜刷]基督教と日本思想	昭和17年	村岡典嗣	11枚綴	昭和17年度発行『カトリック研究』1・2月号に掲載された論文の抜刷。	
梅沢	IV	13		[抜刷]二鼠譬喩談と平田篤胤	昭和9年	村岡典嗣	8枚綴	『文化』第一巻第二号に掲載された論文の抜刷	
梅沢	IV	14		[抜刷]中古に於ける教養観		村岡典嗣	23枚綴	『岩波講座 倫理学 第十三冊』所収論文の抜刷 — 中古とその非倫理性/二 中古教養観の資料としての源氏物語/三 蕃山と宣長との源氏観/四 中古の教養観とその特質/五 中古の教養観の基調と道徳	
梅沢	IV	15		[抜刷]日本人の自然観		源了圓	14枚綴	『岩波講座 哲学5 自然とコスモス』所収論文の抜刷 「謹呈梅沢伊勢三様」とある はじめに/一 古代日本人の自然観/二 中世の自然観/三 近世の自然観/四 近代日本の自然観/むすび	
V その他									
梅沢	V	1	1	阿部次郎先生市葬次第	昭和34年	仙台市	1枚	仙台市名誉市民の阿部次郎の略歴と市葬の案内。村岡典嗣(思想史)と記された二つ折りの厚紙の間に挿まれて保存。	
梅沢	V	1	2	[日記断片]			4枚綴	日記の断片。詳細不明。10月と4月についての記載がある。入院や投薬について記されている。村岡典嗣(思想史)と記された二つ折りの厚紙の間に挿まれて保存。	
梅沢	V	2		東北大学文学部卒論調査メモ	昭和38～45年度	梅沢伊勢三	76枚綴	日本思想史関連の卒論審査の際に作成された、論文のトピックスを抜書きしたメモ。	当初『蕉門俳論俳文集』の外箱入

請求記号			表題	作成年代	作成者	形態(数量)	概要	備考
梅沢	V	3	学生委員会記録・就職対策委員会記録	昭和41～43年度	梅沢伊勢三	60枚綴	梅沢伊勢三が宮城高等専門学校に勤務していたころのものと思われる学生会および就職対策委員会の記録。議題の列挙が主だが、諸所詳細な記述あり。名刺3枚貼付あり。	当初『蕉門俳論俳文集』の外箱入
梅沢	V	4	[随筆]ヨーロッパ紀行	昭和48～49年	梅沢伊勢三	1冊(161枚、白紙多数)	ヨーロッパへの旅行と各地での句作。	『想苑』(専用ノート)
梅沢	V	5	随想随筆	昭和56年	梅沢伊勢三	1冊(70枚、バインダー・抜刷含む)	古典の現代語訳、読書の感想、様々な人生訓や随筆が記されている。印刷物では、梅沢伊勢三「神道による平和的人間性の開眼」が挟まれている。	本の外箱入。
梅沢	V	6	誄辞	昭和56年3月	梅沢伊勢三	1枚(封筒入り)	故人である「西田長男」に向けて作られた誄辞。	
梅沢	V	7	1 [書簡]	昭和56年12月	創文社	1通	『神道史』刊行に関する創文社差出の梅沢宛の書簡。	
梅沢	V	7	2 [正誤表]			5枚綴	手書きの正誤表。	
梅沢	V	8	梅沢伊勢三著作目録	昭和61年4月		5枚ホチキス綴	論文、小論・小文、単行本、書評・論文評、解説、編纂を1つにまとめたもの。	
梅沢	V	9	著作年表			1冊	梅沢伊勢三論文・講義目録／論文目録年次順(記紀批判以外)／梅沢伊勢三論著目録など 内容に重複あり。別個に作られた目録類を後に一綴りにしたものか	
梅沢	V	10	著作目録		梅沢伊勢三	33枚綴	昭和10年以降の梅沢伊勢三の著作目録	
梅沢	V	11	河同人会会員名簿	昭和64～平成元年	『河』同人会	1冊(19枚)	俳誌『河』の会員名簿。『河』は角川源義が創刊、現在は角川春樹が主宰(現行)している。	名簿あり
梅沢	V	12	[目録]		梅沢伊勢三か	35枚封筒入(全て同じもの)	茶に関わる古典の目録。	
梅沢	V	13	一枚草子		梅沢伊勢三	5冊(1冊3枚ホチキス綴)	標語を並べたもの。「俳句寸言集 一栖」とある。一栖は梅沢伊勢三の俳号。	
梅沢	V	14	[スケッチ]		梅沢伊勢三	1冊(21枚、バインダー・鉛筆含む)	学内風景のスケッチか。	







